第２次村上市地域公共交通計画骨子（案）

資料No.2

関連計画

村上市総合計画
村上市都市計画マスタープラン
村上市立地適正化計画
村上市地域公共交通計画

目指す将来像

みんなで育て、みんなで支え、未来へつなぐ公共交通
～誰もが利用しやすい持続可能な地域交通を目指して～

課題

①公共交通の維持に向けた市民意識の醸成
・公共交通を維持していくためには、市民自らが公共交通を守り育てるという意識に転換させることが求められます。また、行政と市民が課題を共有し、関心を高める取組が必要です。

②地域実態に即した交通サービスの提供と拠点間接続の強化
・居住地区により移動ニーズが異なるため、地域特性に応じたサービス提供が不可欠です。特に、買い物・通院・通学等の生活拠点をつなぐ移動手段の維持に加え、待合空間の質的向上も図る必要があります。

③利便性と効率性を両立した持続可能な公共交通体系の構築
・移動弱者の足を確保するため、ドアツードア運行の拡大など利便性を高める一方、深刻なドライバー不足に対応した路線の抜本的見直しを行い、持続可能な運行体制を確立することが求められています。

④来訪・来街者の満足度を高める二次交通の確保と接続性の改善
・観光地や商業地等の主要拠点へのアクセス性を向上させるとともに、鉄道事業者との密な連携により、乗り継ぎ待ち時間の短縮を図る必要があります。

⑤「伝わる」情報発信と利用リテラシーの向上
・運行内容の周知不足を解消し、未利用層へのアプローチを強化することで利用までのハードルを下げることが必要です。同時にトラブル防止のため利用マナーの周知を徹底し、快適な移動手段を確保することが必要です。

目標

①市民の当事者意識の醸成と利用促進につながる情報発信
・公共交通を将来にわたり維持・確保していくため、市民1人ひとりが公共交通課題を自分事として捉え、主体的にかかわる意識の醸成を図ります。
・運行内容や利用方法など、必要な情報が確実に届く情報発信を行い、利用促進を図ります。

②地域の実態や移動ニーズに応じた交通サービスの提供
・地域ごとの特性や通勤、通学、買い物、通院等の日常生活における移動ニーズに応じた交通サービスの提供を目指します。
・二次交通の充実を図り、市民だけでなく来街者にとっても利用しやすい移動環境を構築します。

③利便性・効率性を両立した持続可能な公共交通の形成
・限られた交通資源を有効に活用しながら、利用状況や地域特性を踏まえた効率的で利便性の高い公共交通体系を目指します。
・交通事業者における人材不足などの課題に対応するため、多様な主体と連携しながら持続可能な公共交通を実現します。

【評価指標】
指標①：コミュニティバスあべっ車の利用者数および収支率
指標②：のりあいタクシーの利用者数および収支率
指標③：山北地域路線バスの利用者数および収支率
指標④：さんぽくんの利用者数および収支率
指標⑤：本市の財政負担額

施策

①公共交通を「自分事化」する意識醸成

②利用促進と利用方法に関する「届く」情報発信

③地区別のニーズに即した交通サービスの提供

④ 利便性・効率性を両立する交通環境・ネットワークの形成

⑤ 観光・地域活性化と連携した移動環境の構築

⑥ドライバー不足解消に向けた支援